



クラウドソーシングを使った外注戦略

限られた予算と人手で運用する中小企業のWebサイト運用。企業価値を高め、売上アップにつながるWebサイト運用のPDCAの回し方を解説します。

株式会社パワービジョン
山田 竜也

- 25 Webを使った採用戦略①(4月号)
- 26 Webを使った採用戦略②(5月号)
- 27 Webを使った採用戦略③(6月号)
- 28 クラウドソーシングを使った外注戦略(7月号)
- 29 Webアンケートの活用法(8月号)
- 30 今起きているWeb活用のトレンド(9月号)

ローコスト・ローリスクで 外注が可能

在宅によるリモートワークが広がるなかで、企業活動においても遠隔による仕事の受発注が広がっています。

今回はインターネット上で業務の発注と成果の受取りが完了するクラウドソーシングについて紹介します。

近年、事業環境の激しい変化や業務の高度化が進んでおり、社内のリソースだけで業務を進めることが難しいケースが増えてきています。

しかし、業者に外注すると費用がかかり過ぎる、どのような会社にも頼めばよいのかわからないといった問題もあります。

そんなときに、ぜひ活用してほしいのがクラウドソーシングサービスです。

ビスです。クラウドソーシングとは、インターネット上で仕事を依頼できるサービスです(表)。子育てや介護のために離職中の人が登録したり、近年の複業解禁の流れによって登録者も増えてきています。

低価格で、ロゴデザイン、キャッチコピー、バナーの作成、文章の執筆、インタビュー音源の文字起こし、といったさまざまな仕事をスポットで依頼することができます。場合によっては、一般の業者の数分の1程度の金額で、同レベルの仕事をしてもらえることもあります。

ただし、インターネット上でのやり取りに限られるため、対面での打ち合わせが難しいという問題もあります。

クラウドソーシングの 具体的な活用方法

たとえば、あなたの会社のロゴデザインが何十年も変わっておらず、そろそろ新しいものに変えたいとします。

プロのデザイナーを指名して依頼をしても、相性が悪いと、いまひとつ気に入らないデザインになってしまうこともあります。

クラウドソーシングでは「コンペ形式」で仕事を発注するため、このようなリスクを回避できます。

会社のロゴイメージや要望を伝えてコンペを実施すれば、大勢のデザイナーがロゴのデザインを提案してくれます。あとは、あなたがそのなかから気に入ったロゴを選択すればOKです。

支払いについても、選ばれたクリエイターにだけ行なうことになります。相場としては、1万〜3万円程度でかなりの数の提案があるでしょう。

従来、このようなコンペはクラウドソーシングができるまでは、最低でも数十万〜数百万円の予算が必要とされていたので、中小企業にとっては嬉しい環境変化といえます。

同じように、キャンペーンのバナーを作成してもらったり、社長やスタッフ、クライアントにインタビューした録音データを文字起こししてもらってWebコンテンツにしたりできます。

さらに、自社Webサイトの作成やリニューアルを発注することも可能です。翻訳ができる人に依頼すれば、海外向けのWebサイトをにつくることもできます。



実績を見比べて 業者を選ぶ

国内のクラウドソーシングサービスでは、クラウドワークスとランサーズの2社が最大手で、広範囲の業務に対応しています。海外

のクリエイターに発注するサービスでは、Upworkが最大手です。また、Web上のやりとりで完結する業務だけでなく、出張写真撮影のマッチングといったサービスもあります。

大勢のカメラマンが登録してお

り、実績や料金などから好みのカメラマンが選べます。写真撮影に強いマッチングサービスとしては、OurPhotoやFOTORIAが挙げられます。

これらのサイトは、カメラマンの写真や実績、利用者の口コミなどが掲載されているため、自社のサービスや商品との相性を見極めることができます。

募集型と依頼型を使い分ける

クラウドワークスやランサーズは「募集型」のクラウドソーシングで、「このような作業をこのような金額でやってくれる人はいませんか」と募集をかけ、仕事をしたい登録者からメッセージが届く仕組みです。

タイミングや依頼内容によって、求めるレベルの応募者が現われない場合もあります。

一方、「依頼型」のクラウドソーシングとして有名なサービスがココナラです。ココナラは、無形サービスのネットショップです。

イラストを描いたり、Webサイトを作成したり、マーケットリサーチをしたりといった、それぞれの人が得意とする無形のサービス

キルがネットショップのように販売されています。

自分が発注したいジャンルでフリーマーケットのように出品されている登録者のスキルを探していき、その人の実績や口コミ、料金などを比較しながら最もよさそうな人に発注をかけるという仕組みです。

当然、スキルレベルが高く人気のある登録者は、作業が順番待ちになっていたり、価格が高めになっているという傾向があります。

目的に合った登録者を探す手間がかかりますが、「募集型」にくらべてピタリの実績を持った人を指名しやすいという特徴があります。

「依頼型」で海外のクリエイターを探したい場合は、Fiverrが最大手のサービスになります。

クラウドソーシングを利用する場合、状況によって「依頼型」と「募集型」の使い分けをすること、場合によっては両方を併用してうまく仕事を発注していくことをおすすめします。

これらのサービスは、Web以外の業務にも活用できますので、広報担当者の方は幅広く活用されることをおすすめします。

■クラウドソーシングサービス例

名称	特徴	
クラウドワークス	総合・募集型	国内最大級の募集型クラウドソーシングサービス。あらゆるジャンルの仕事に対応している。
ランサーズ	総合・募集型	国内最大級の募集型クラウドソーシングサービス。あらゆるジャンルの仕事に対応している。
Upwork	総合・募集型(海外)	世界最大級のクラウドソーシングサービス。海外のクリエイターに発注するのに最適。
ココナラ	総合・依頼型	国内最大級依頼型クラウドソーシングサービス。ランキングや実績、口コミなどから、人気であったりスキルがぴったりの業者を探す仕組みが充実している。
Fiverr	総合・依頼型(海外)	世界最大級の依頼型クラウドソーシングサービス。
Skets	商品企画特化	一緒に商品企画を行なうプロフェッショナルを見つけるケースから、コミュニティをつくって企業のテーマに対して、登録者からアイデアを募るような形などがある。
ラクスル	チラシなど印刷物特化	チラシや名刺など印刷物を、適切な印刷工場とマッチングする。こちらから発注工場は選べず、ラクスルが適宜業者を選択して取り持つ。
Shinobiライティング	ライティング特化	ライティング業務に特化した募集型クラウドソーシングサービス。
Gengo	翻訳特化	翻訳に特化したクラウドソーシングサービス。70以上の言語翻訳をプロが行なう。ECサイトの翻訳に最適。
99designs	デザイン特化(海外)	デザイン領域に特化した世界最大級のクラウドソーシングサービス。
OurPhoto	写真撮影特化	出張写真撮影に特化したクラウドソーシングサービス。写真家を選択して依頼する依頼型。
FOTORIA	写真撮影特化	出張写真撮影に特化したクラウドソーシングサービス。写真家を選択して依頼する依頼型。
SKIMA	イラスト特化	イラストに特化した依頼型のクラウドソーシングサービス。特にアニメ調のイラストを提供するクリエイターが多い。

やまだ りゅうや 同志社大学哲学科を卒業後、公共系のシステムエンジニアを経て、Webコンサルティング専門会社パワビジョンを立ち上げる。1年で年商120万円のサイトを13億円まで成長させるなど豊富な実績を持つ。著書に『小さな会社のWeb担当者になったら読む本』など。